

【各章の構成と内容】

| 各章の構成 | 内 容 |
|---|--|
| トピックス | <ul style="list-style-type: none"> ・木材自給率が 30% 台まで回復、ミラノ国際博覧会で木材利用の魅力を発信、気候変動枠組条約第 21 回締約国会議(COP21)で森林の役割を再確認、国有林の保護林制度が創設から 100 年について記述。 |
| I 国産材の安定供給体制の構築に向けて(特集章) 1. 森林資源の充実と国産材需給の現況 2. 国産材の安定供給体制構築の意義と考え方 3. 安定供給体制の構築に向けた取組の現状と今後の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源の充実と林業の成長産業化、国産材需給の現況について記述。 ・国産材の安定供給体制の構築についての意義と考え方について記述。 ・安定供給体制の構築に向けた取組の現状と課題について、主伐とその後の再生林の推進、低コスト生産システムの構築、原木流通の合理化、林業事業者の育成、施業の集約化、労働力の確保、路網の整備、木材等の需給情報の共有、原木供給のとりまとめとコーディネート、安定取引等の動きに分けて記述。 |
| II 森林の整備・保全 1. 森林の現状と施策の基本方針 2. 森林整備の動向 3. 森林保全の動向 4. 国際的な取組の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の森林と多面的機能、森林・林業に関する施策の基本方針について記述。 ・森林整備の推進状況、社会全体に広がる森林づくり活動、研究・技術開発及び普及の推進について記述。 ・保安林等の管理及び保全、治山対策の展開、森林における生物多様性の保全、森林被害対策の推進について記述。 ・持続可能な森林経営の推進、地球温暖化対策と森林、生物多様性に関する国際的な議論、我が国の国際協力について記述。 |
| III 林業と山村 1. 林業の動向 2. 特用林産物の動向 3. 山村の動向 | <ul style="list-style-type: none"> ・林業生産の動向、林業経営の動向、林業労働力の動向について記述。 ・きのこ類の動向、その他の特用林産物の動向について記述。 ・山村の現状、山村の活性化について記述。 |
| IV 木材産業と木材利用 1. 木材需給の動向 2. 木材産業の動向 3. 木材利用の動向 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界の木材需給の動向、我が国の木材需給の動向、木材価格の動向、違法伐採対策、木材輸出について記述。 ・木材産業の概況、製材業、集成材工業、合板製造業、木材チップ製造業、木材流通業、新たな製品・技術の開発・普及について記述。 ・木材利用の意義と普及、住宅分野における木材利用、公共建築物等における木材利用、木質バイオマスのエネルギー利用について記述。 |
| V 国有林野の管理経営 1. 国有林野の役割 2. 国有林野事業の具体的取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・公益重視の管理経営の一層の推進、森林・林業の再生への貢献、「国民の森林」としての管理経営等について、一般会計化の前後の変化を踏まえ記述。 |
| VI 東日本大震災からの復興 1. 復興に向けた森林・林業・木材産業の取組 2. 原子力災害からの復興 | <ul style="list-style-type: none"> ・森林等の被害と復旧状況、海岸防災林の復旧・再生、復興への木材の活用と森林・林業の貢献について、発生から 5 年経過することを念頭に記述。 ・森林の放射性物質対策、安全な林産物の供給、樹皮やほだ木等の廃棄物の処理、損害の賠償について記述。 |